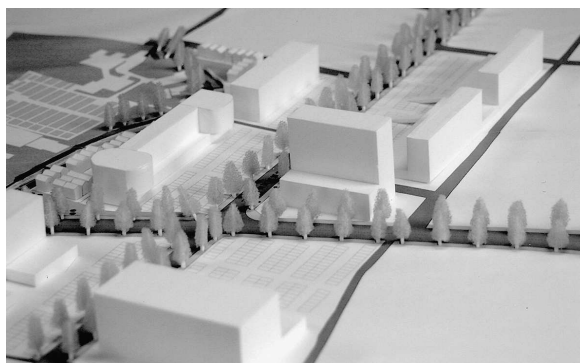


ここが聞きたい 一般質問



一変するか？大町の再開発プラン

県に強く要望してまいります。

質問 大町の再開発について、民間デベロッパーが公の補助金なしで行う再開発案を地権者と市に提案しております。計画では商店街駐車場、マンションを一体化したもので、地域環境はだいぶ変わるようであり、地域では賛否両論です。今後の市の対応を伺います。

市長 地域の合意形成が大切なことだと思います。途中で頓挫したら大変な事になりますので今後も情報収集に努め、地域の相談に乗ってまいります。

質問 不正経理27万円の報告がありました。予算の未使用額は「次年度予算からカット」のあり方が元々

問題です。県で導入する節約が認められたら「褒美を出す」「節減加算」と「外部監査」を導入すべきと考えますが姿勢を伺います。

市長 20年12月中にしっかりとした内部監査を実施し、結果をご報告します。「節減加算」「外部監査」導入についてはその後実施システムを検討致します。



わたなべ あけみ
渡辺 明美
議員

○プロロードバンド環境整備について
○水沢病院運営と地域医療について

質問 笹森地区プロロードバンド基盤整備の早期実現を目指し、地区全体の課題と捉え、会を立ち上げお互いに情報交換をし、市からの協力を頂きNTTの採算確保のための仮加入申込書を170件集めNTTに提出致しました。

今後の対策と見通しについて、市からの補助金で早期実現は出来ないのかお伺い致します。

市長 前向きに支援の方向で考えます。また市内未整備地区も含め国・県の動向を踏まえ対応していきます。

質問 平成21年1月策定予定の公

立病院改革プラン、水沢病院の不良債務の一部を国の「公立病院特例債」で解消する件の状況をお伺い致します。

市長 19年度末不良債務残約24億5,000万円の内14億9,000万円が対象であったが、3億7,100万円増額の18億6,100万円を要求しており、対象とならない5億4,400万円は、一般会計からの長期貸付金となります。

質問 胆江医療圏の救急医療体制の充実についてお伺い致します。

病院事業管理者 水沢病院の医師不足（来年4月から新たに医師1人が着任予定）のなか、医療連携が大切なことから、年度途中に医療連携室を設け胆沢病院等と連携



緊急対応で市民は安心

を取りながら進めています。

健康福祉部長 今後勤務医同士の関係も大切にし、一緒に仕事をする機会を増やし相互理解を深めていきます。

○米粉需要拡大について
○建設発生土の有効利用推進について



なかざわ としあき
中澤 俊明
議員

質問 米を米粉に加工し、パンや麺類に活用して流通させる事が、米の需要拡大につながり転作水田の有効活用となります。主食用米の需要減少の中、食料自給率向上になり、不安定、不安全的な輸入穀物や食料品にかわるものとして、米粉の普及拡大が求められています。所見を伺います。

市長 米の消費拡大が進まない状況の中で、県内の米粉の生産量は460トン前後で推移しており、その内訳は菓子用が97%、米粉パン用が3%となっております。今後米粉の利用拡大を進めるためには、原料価格の低減と流通体制の整備、加工技術の開発普及、安定的な販路の確保が課題となります。米の需要拡大や水田の有効活用に